

令和 5 年度

本学教育改善のための卒業生アンケート結果

(令和 5 年 7～9 月実施)

【対象研修医】：研修医 2 年目（R3.3 月卒業） 80 名

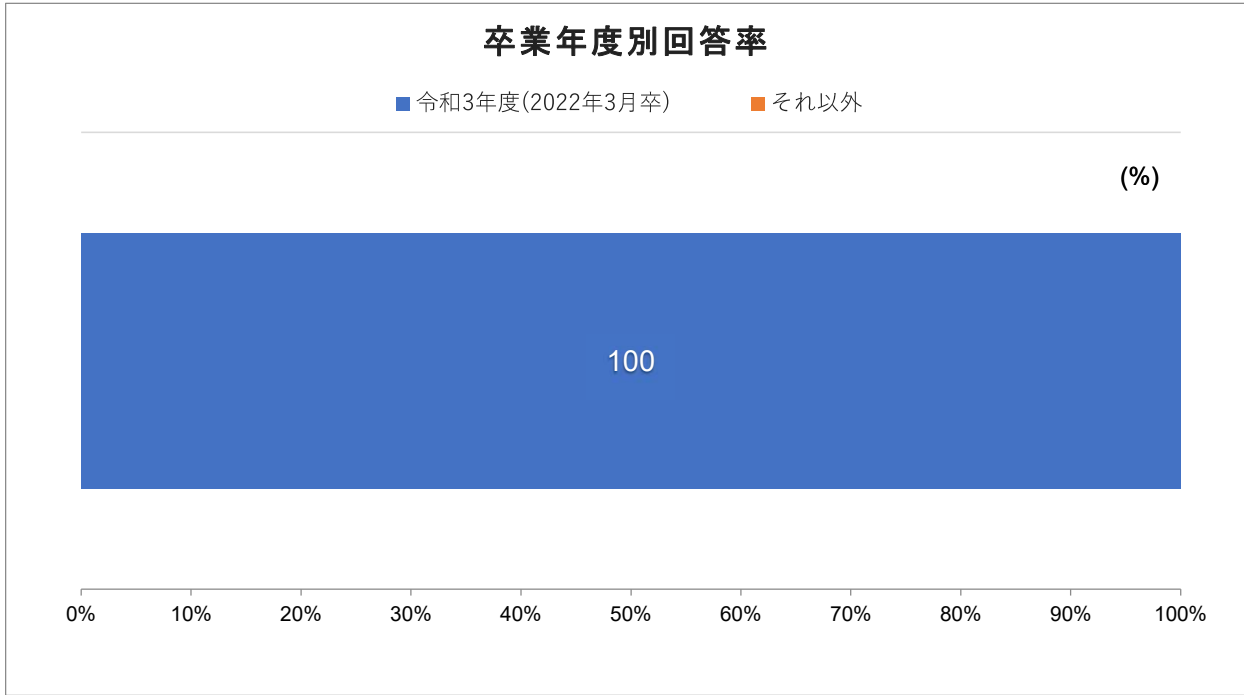
【回答数】：32 名（回答率：40%）

※昨年度：28.4%（67 名中 19 名）

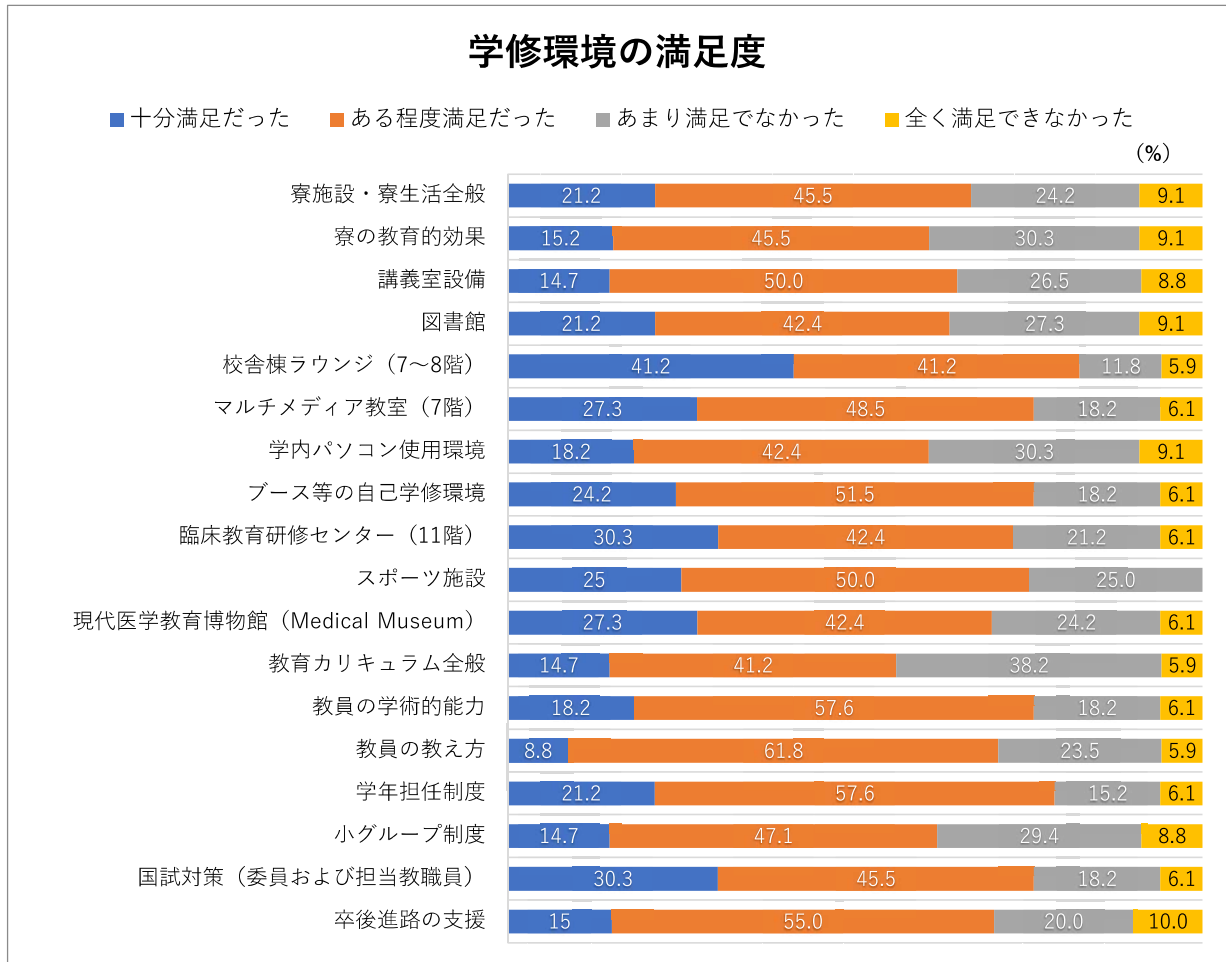
【まとめ】

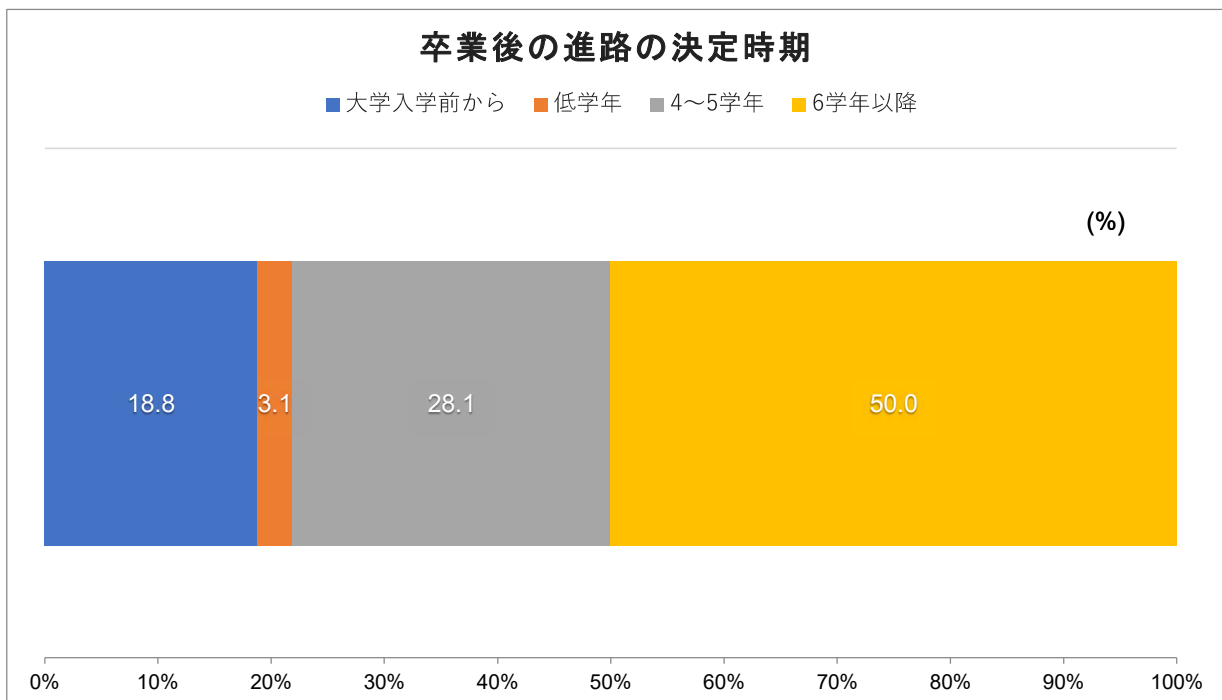
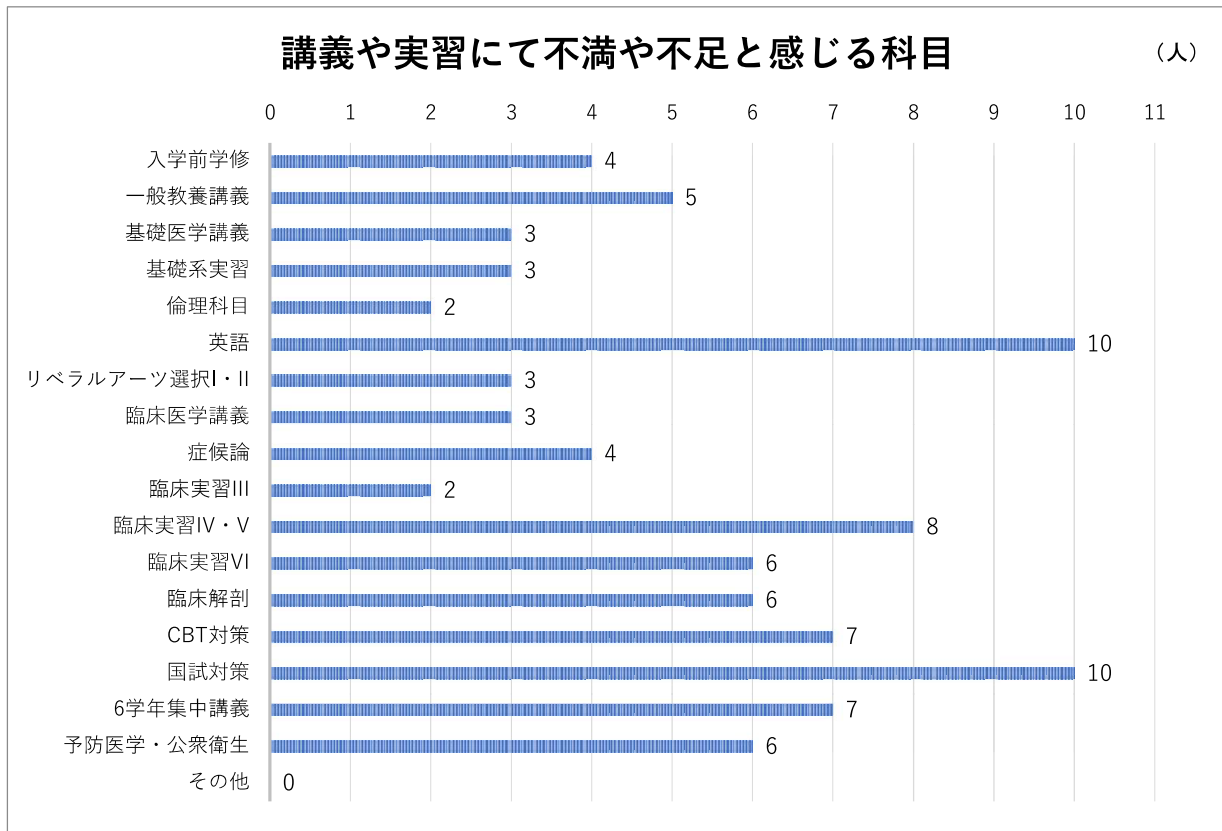
1. 大学時代の満足度が高かったのは、「校舎棟ラウンジ」、「学年担任制度」、「マルチメディア教室」、「ブース等の自己学修環境」などであった。
2. 大学時代の講義や実習で不満を感じる科目では、「英語」と「国試対策」であり、ついで「臨床実習 IV・V」であった。
具体的記述として、「卒業試験の比重が大きく試験後にやる気をなくす」、「英語は医学単語か英会話かどっちつかずな印象」などの意見が多かった。
3. 本学の教育においてよかった点については、「ブースや図書館の充実」、「国試を熱心に研究している先生からの影響」、「質問しやすい先生が多い」といった回答がみられた。
4. 卒業後の進路決定時期は「6 学年以降」が 50%、「4～5 学年」が 28.1%であった。
決定に重視した要素では「出身地域」が最多であった。
5. 現在の仕事に必要なスキルは、「マナー態度」、「他職種同僚とのコミュニケーション」などの回答が多かった。また、大学時代に養われた満足度では、「医学知識」が最多で、「自分の欠点を認知し改善の努力を行う」が続いた。
6. 一方、「英語力」は例年通り現在の仕事への必要性・大学時代に養われた満足度共に低い結果となった。
7. 卒業生対象の生涯教育として学修したい内容では、「臨床医学一般」が最多であった。次いで「医療関連法規」と「基礎医学一般」が同人数であった。

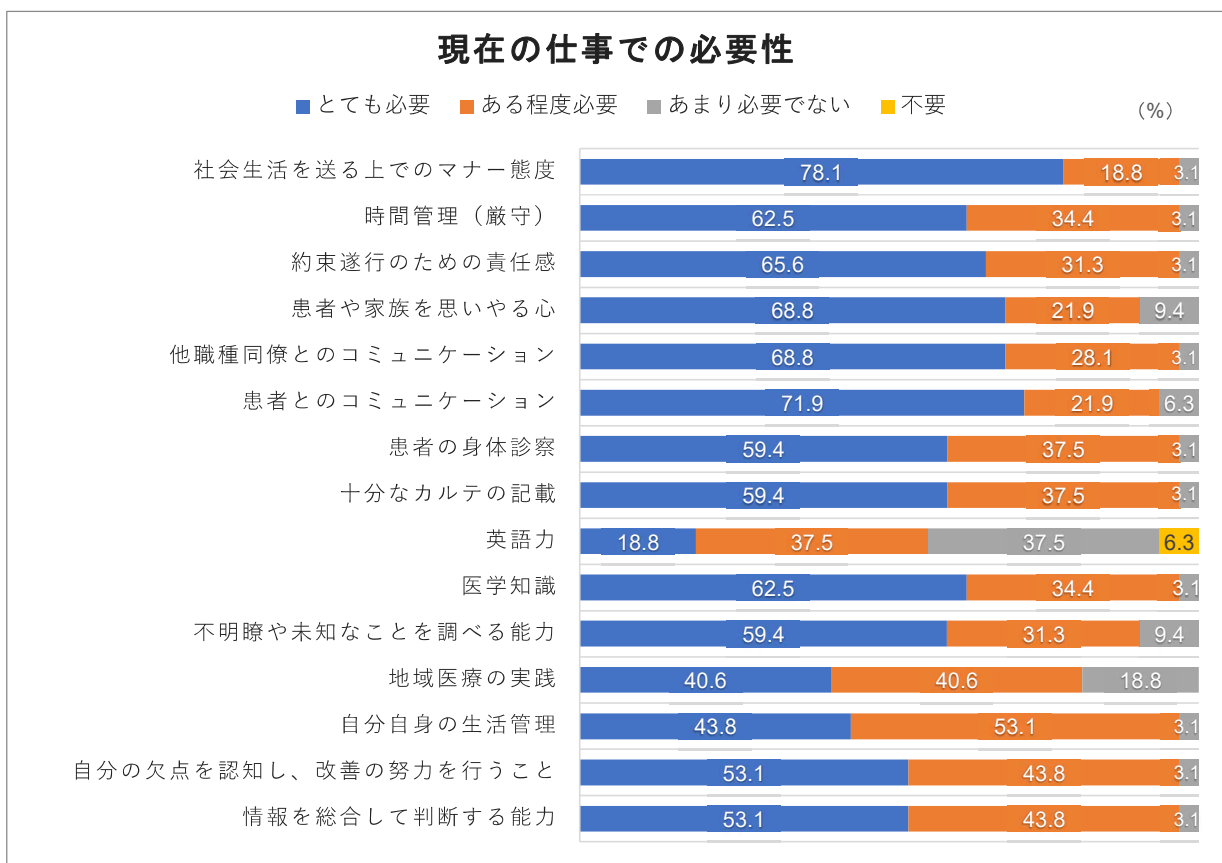
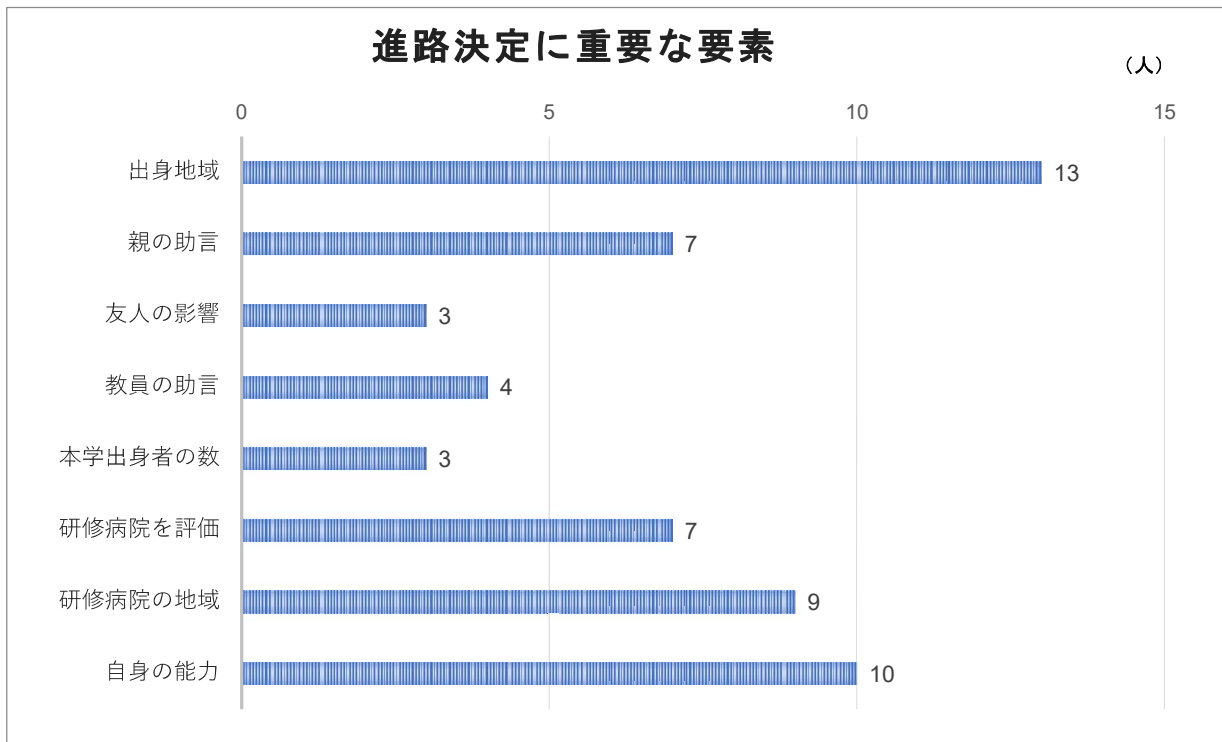
卒業年度別回答率



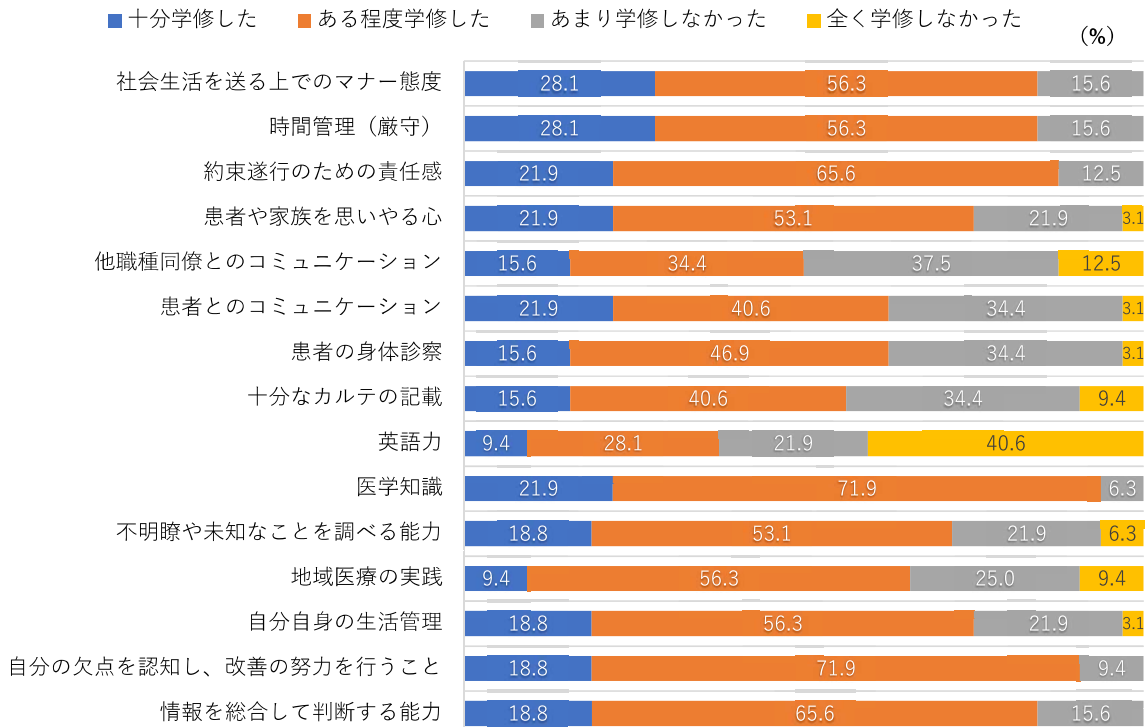
学修環境の満足度



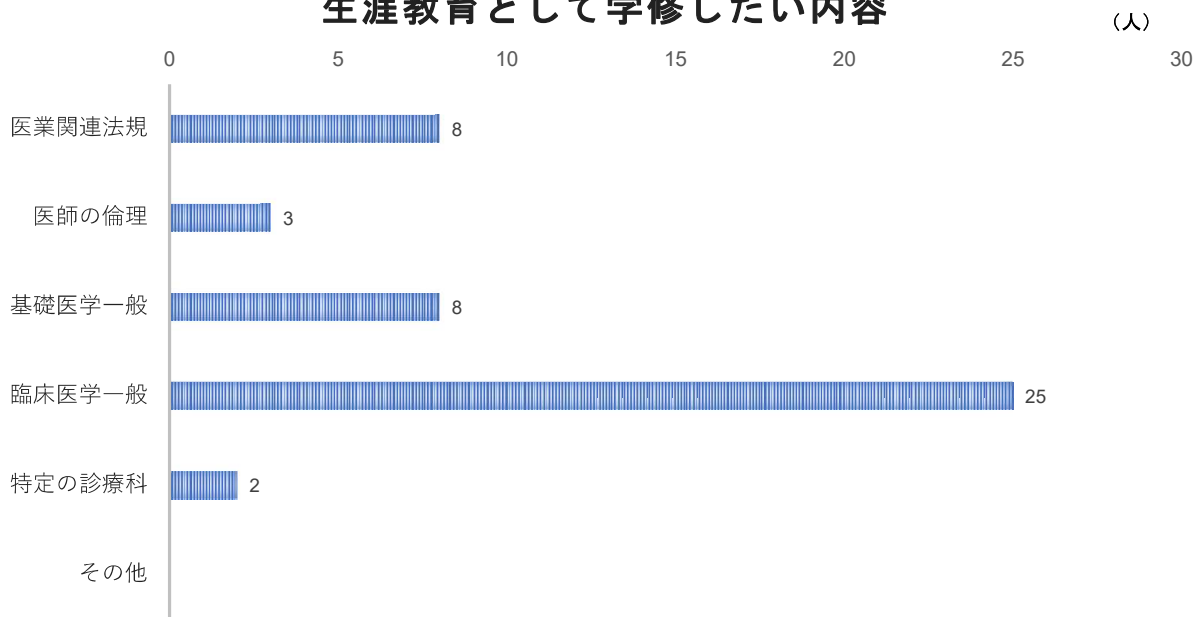




大学時代に養われた満足度



生涯教育として学修したい内容



特定の診療科

循環器や呼吸器など毛利先生の生理学をもう一度受けてみたい。また、椎野先生によるエコー講座などあれば嬉しい。心エコーや心電図も循環器の先生に教えてもらいたい。

救急対応のピットフォール